

## 平成23年度第1回流山市文化財審議会会議録

### 1 開催日時

平成23年6月3日（金）午後2時30分～午後5時20分

### 2 場所

- (1) 会議：流山市立中央図書館会議室
- (2) 視察：寺田園旧店舗・流山三丁目庚申祠等
- (3) 見学：流山市立博物館愛染明王坐像展

### 3 次第

- (1) 開会
- (2) 教育長あいさつ
- (3) 会長あいさつ
- (4) 視察
- (5) 平成23年度第1回文化財審議会
- (6) 見学

### 4 議題

- (1) 国登録有形文化財（寺田園旧店舗）登録の報告について
- (2) 中・木造愛染明王坐像の修理状況について
- (3) 中・制多迦童子立像及び矜羯羅童子立像の修理状況について
- (4) 三輪野山・中村家長屋門解体及び門内資料について
- (5) 流山市指定有形民俗文化財の指定について（諮問）
- (6) その他

### 5 出席委員

古谷会長、小川委員、志田委員、下津谷委員、武田委員、常木委員、日塔委員、松浦委員、山田委員（9名出席）

### 6 事務局員

後田教育長、友金生涯学習部長、鈴木図書・博物館長、須田図書・博物館次長、小栗学芸係長、川根主任学芸員、増崎主任学芸員、遠山主任学芸員

### 7 傍聴者

なし

### 8 平成23年度第1回文化財審議会会議録

- (1) 国登録有形文化財（寺田園旧店舗）登録の報告について

**【増崎主任学芸員】**

寺田園旧店舗が平成23年3月18日に国登録有形文化財（建造物）として登録されたことを資料に基づき報告

**【古谷会長】**

この件について、御意見のある方はいらっしゃいますか。

御意見がないようですので次の議題にうつります。

(2) 中・木造愛染明王坐像の修理状況について

**【増崎主任学芸員】**

中・木造愛染明王坐像の修復について資料に基づき報告、及び奉納木剣について説明

**【古谷会長】**

この件について、御意見のある方はいらっしゃいますか。

**【松浦委員】**

修理報告書は出されるのですか。

**【増崎主任学芸員】**

報告書については、既に古文化財保存修復研究所から提出されています。

(3) 中・制多迦童子立像及び矜羯羅童子立像の修理状況について

**【増崎主任学芸員】**

中・制多迦童子立像及び矜羯羅童子立像の修復について資料に基づき説明

**【小栗係長】**

修理を実施した武田委員から補足説明をお願いします。

**【古谷会長】**

武田委員、発言をお願いします。

**【武田委員】**

中自治会にある制多迦童子立像は、愛染明王と時代が違います。他に7体あり、それぞれ状態が違って、墨書もあるが、解体してみると中には転用材を使った形跡もあって、少なくとも2回くらい修理をしているようです。構造的にも愛染明王と違って、

制多迦童子立像は材はしっかりしていて、根幹は膠が効いていて解体しないで修理を行いました。足は修理が行われていたが、接着が弱く、外して足りない部分を補い、修理をしました。彩色は剥げていたが、当初のものは確認できないので、現在の彩色を判断して修理を行いました。

今取り組んでいる矜羯羅童子立像は虫食いが酷く、他の2体も同様で、虫

食いの修理が中心となります。

このように虫食いが酷くても保存されてきたのは、地域の人々の努力と思います。

【古谷会長】

武田委員からの報告について、御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

【日塔委員】

資料4頁左下の写真を見ると、黒色等まだらに見えるが、現状では剥落止めだけなのではないでしょうか。

【武田委員】

現状が黒かったので、それにならって補彩しました。

【日塔委員】

色彩の明るい箇所はそのままですか。

【武田委員】

明るいところはそのままです。砒素が入ったような黄色です。赤は酸化したように変色しています。表面はクリーニングをしたが、黒はとりきれないという状態です。

【日塔委員】

実物では調和しているのでしょうか。

【武田委員】

顔としての一体感がなく、また胡粉もみられませんでした。いつでも取れる補彩をしました。

(4) 三輪野山・中村家長屋門解体及び門内資料について

【増崎主任学芸員】

三輪野山・中村家長屋門解体について資料に基づき説明、及び門内資料(古文書)について説明

【古谷会長】

この件について、御意見のある方はいらっしゃいますか

【小川委員】

この門は現存していないのですか。

【増崎主任学芸員】

現存していません。

【小川委員】

門は明治以降のものと思うが階段付きであり、隠居部屋として使ったという話はないですか。

【増崎主任学芸員】

特に部屋として使った形跡はありません。

【小川委員】

膳・椀類はなかったですか。

【増崎主任学芸員】

膳・椀類は百組くらいありました。

【小川委員】

それはどうしましたか。

【増崎主任学芸員】

博物館では収集しませんでした。

【小川委員】

昔は膳・椀には村使用と個人使用があり、貸し出して冠婚葬祭を行いました。幕末から明治にかけて、火鉢・座布団なども貸し出して冠婚葬祭をしており、葬式用と結婚式・七五三用に分かれていました。量が多くあるところに意義があり、今後はそういう見方をするようお願いします。

【日塔委員】

報告書を見ると写真よりしっかりした造りです。2階建て、背が高い、屋根の勾配からすると瓦葺でしょうか。屋根の垂木を打っているものは和釘であり、明治20年以前になると思います。

【小川委員】

単なる名主では長屋門は造れなかった、同じ名主でも相当力があつた名主さんで、明治初期あるいは10年代だと思います。野田にもありましたが、隠居部屋に使っていました。

【古谷会長】

位牌、あるいは仏壇があつたと聞きましたが。

【増崎主任学芸員】

解体時に位牌の様な物がたくさんあり、徳川將軍家のものだったので確認したところ、旗本がもってきたと聞いています。お寺へ納めるそうです。

【小川委員】

中村家のものならこの地方にないもの、隠居分家というもので民俗の世界が変わります。そういうものでないということなので安心しました。

【松浦委員】

市内の建造物の調査はどのくらい進んでいるのでしょうか。

【増崎主任学芸員】

長屋門の調査は過去に行っていて、その時点では 10 件ほどで、現在は 3 から 4 件くらいと思います。

【小川委員】

屋敷神の時にも調査しましたが、本当になくなってしまいました。

【松浦委員】

悉皆調査を行って、台帳化することが必要だと思いますが。

【古谷会長】

事務局で検討して欲しいのですが。

【小栗係長】

建造物の悉皆調査をしていきたいと思います。

【下津谷委員】

母屋はどういうものだったのでしょうか。

【小栗係長】

2 棟あり、1 棟は木造、1 棟はコンクリート造りで、木造は戦前のものと考えています。

【下津谷委員】

長屋門よりは新しいのですね。

【小川委員】

多分長屋門が、重機を入れるのに邪魔になったのではないのでしょうか。

【日塔委員】

民家の調査は年代をいつまでとするか、江戸の造りは昭和初期までであり、そういったものを含めて調査を実施する必要があります。また、社寺建築の調査も必要と思います。

【小栗係長】

そうすると母屋も調査の対象となるべきものだった可能性もあるということでしょうね。

(5) 流山市指定有形民俗文化財の指定について（諮問）

【古谷会長】

流山市指定有形民俗文化財の指定については、教育委員会の諮問になります

文化財にはそれぞれ所有者がおり、流山市情報公開条例第7条第1項の(2)の個人情報を含むことに該当すること、並びに同条第6項ウ調査研究にかかる事務に関し、その公正かつ能率的な遂行を不当に阻害するおそれがあることから、この議題を非公開にしたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【古谷会長】

では、この議題を非公開とします

審議

【古谷会長】

流山市指定有形民俗文化財（名称：流山三丁目庚申講関係資料）の指定について（諮問）は、認めることに決定しました。

本審議会から教育委員会へは、本日の審議のとおり答申することにいたします。

【古谷会長】

これで閉会とさせていただきます。閉会 17時20分

9 見学

流山市立博物館愛染明王坐像展見学